

製品名: MYBPC3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14264**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	140kDa

抗原情報

遺伝子名	MYBPC3
別名	Myosin-binding protein C, cardiac-type (Cardiac MyBP-C) (C-protein, cardiac muscle isoform)
遺伝子 ID	4607.0
SwissProt ID	Q14896
免疫原	ヒト MYBPC3 由来の合成ペプチドポリクローナル

背景

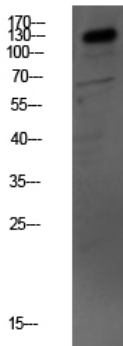
MYBPC3 は、ミオシン結合タンパク質 C の心筋型アイソフォームをコードしています。ミオシン結合タンパク質 C は、横紋筋の A 帯

の架橋部（C領域）に存在するミオシン関連タンパク質です。心筋型アイソフォームである MYBPC3 は、心筋にのみ発現しています。生体内では、アドレナリン刺激を受けた cAMP 依存性タンパク質キナーゼ（PKA）による心筋型アイソフォームの調節的リン酸化が、心収縮の調節に関与している可能性があります。MYBPC3 の変異は、家族性肥大型心筋症の原因の一つです。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、疾患：MYBPC3 の欠陥は、家族性肥大型心筋症 4 型（CMH4）の原因です[MIM:115197]。家族性肥大型心筋症は、心室肥大を特徴とする遺伝性心疾患であり、心室肥大は通常は非対称性で、しばしば心室中隔が侵されます。症状には、呼吸困難、失神、虚脱、動悸、胸痛などがあります。これらの症状は運動によって容易に誘発される可能性があります。この疾患は、良性から悪性まで、家族内および家族間で多様性があり、心不全や突然死のリスクが高くなります。機能：脊椎動物の横紋筋 α 帯の架橋領域に位置する太いフィラメント関連タンパク質。in vitro において、MHC、F アクチン、および天然の細いフィラメントに結合し、アクチン活性化ミオシン ATPase の活性を変化させます。筋収縮を調節する可能性があり、より構造的な役割を果たす可能性があります。PTM：PKA および PKC によるリン酸化の基質。可逆的なリン酸化は収縮を調節すると考えられる。類似性：免疫グロブリンスーパーファミリーに属する。MyBP ファミリー。類似性：3 つのフィブロネクチン III 型ドメインを含む。類似性：7 つの Ig 様 C2 型（免疫グロブリン様）ドメインを含む。

研究分野

肥大型心筋症（HCM）; 拡張型心筋症;

画像データ



マウス腎臓溶解液のウェスタンブロット分析、抗体は 1000 倍に希釈した。二次抗体は 1:20000 倍に希釈した。